

第②類医薬品

三光丸いたみどめ顆粒



登録商標



いたみどめ

神経痛・打撲痛

生理痛の鎮痛

頭痛・歯痛

肩こり痛・腰痛

販売名 三光丸いたみどめ顆粒

第②類医薬品

効能・効果

- (1) 頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・月経痛(生理痛)・外傷痛の鎮痛。
- (2) 悪寒・発熱時の解熱。

用法・用量

大人15歳以上…………… 1回1包
 11歳以上15歳未満… 1回 $\frac{2}{3}$ 包
 8歳以上11歳未満… 1回 $\frac{1}{2}$ 包
 5歳以上8歳未満… 1回 $\frac{1}{3}$ 包

3歳以上5歳未満… 1回 $\frac{1}{4}$ 包
 1日2回を限度とし、なるべく空腹時をさけて服用すること。服用間隔は6時間以上おくこと。

成分・分量 1日量(2包)中

日局 アセトアミノフェン… 540mg
 // エテンザミド…………… 700mg
 // 無水カフェイン…………… 200mg

添加物としてリン酸水素Ca水和物、バレシヨデンブ、カルメロースカルシウム及びヒドロキシプロピルセルロースを含有する。

注意 1. 次の人は服用しないこと。(1) 本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人。(2) 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。2. 服用に際しては、説明文書をよく読むこと。3. 直射日光の当たらない湿気の少ない所に保管すること。

配置期限 製造番号



2包入(1包0.9g×2)¥200+税

製造販売元 寧薬化学工業株式会社
 奈良県大和高田市旭南町2-25
 お問い合わせ先 0745-22-4151

解熱鎮痛薬の使用上の注意 T-5-3AE⑬

してはいけないこと (守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる)

1. 次の人は服用しないこと (1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。(2) 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないこと 他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬、乗物酔い薬
3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないこと(眠気等があらわれることがある)
4. 服用前後は飲酒しないこと 5. 長期連用しないこと

相談すること

1. 次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。(3) 授乳中の人。(4) 水痘(水ぼうそう)若しくはインフルエンザにかかっている又はその疑いのある乳・幼・小児(15歳未満)(5) 高齢者(6) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。(7) 次の診断を受けた人。

心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるため、直ちに服用を中止し、本剤及び本書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症 状	関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ	精神神経系	めまい
消 化 器	吐き気・嘔吐、食欲不振	そ の 他	過度の体温低下

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。
その場合は直ちに医師の診療を受けること。

SA3764191106

裏面へつづく

症状の名称	症 状
シ ョ ッ ク (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (対トプソゾール症候群)、 中毒性表皮壊死剥離症、 急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ(小膿疱)が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腎 障 害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしただけで息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、本剤及び本書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること 眠気 4.5~6回服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、本剤及び本書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
【用法及び用量に関連する注意】(1) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。

【保管及び取扱い上の注意】(1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。(2) 小児の手の届かない所に保管すること。(3) 他の容器に入れ替えないこと。(誤用の原因になったり品質が変わる。)(4) 1包を分割した残りを使用する場合には、袋の口を折り返して保管し、2日以内に使用すること。(5) 配置期限のすぎたものは、服用しないこと。